

取扱説明書

ColorEdge®

CG222W

カラーマネージメント液晶モニター

重要

ご使用前には必ず使用上の注意、本取扱説明書、かんたん！セットアップガイド、セットアップマニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。

この取扱説明書は大切に保管してください。

最新の取扱説明書は、当社のホームページからダウンロードできます。

<http://www.eizo.co.jp>

モニターについて	3
第1章 はじめに	5
1-1. 特長	5
1-2. 操作ボタンの名称	6
1-3. ユーティリティディスクについて	7
第2章 設置する	8
2-1. 2台のコンピュータをつなぐ	8
2-2. USB (Universal Serial Bus) の活用について	10
第3章 画面調整と設定をする	11
3-1. 基本操作方法と機能一覧	11
3-2. 画面調整をする	13
3-3. カラー調整をする	16
3-4. 節電設定をする	19
3-5. オフタイマー機能を使用する	20
3-6. 設定をロックする	20
3-7. 電源ランプを非表示にする	21
3-8. 明るさの自動調整を設定する	21
3-9. 推奨解像度以外での使用の場合	22
3-10. 調整メニューの表示方向を設定する	23
3-11. EIZO ロゴを非表示にする	23
第4章 故障かなと思ったら	24
第5章 ご参考に	27
5-1. アーム取付方法	27
5-2. 仕様	28
5-3. 用語集	32
第6章 プリセットタイミング	34
アフターサービス	35
TCO'03	37

セットアップについて

コンピュータとの接続から使い始めるまでの基本説明についてはかんたん！セットアップガイドとセットアップマニュアルをお読みください。



この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。また、製品の付属品（ケーブル含む）や当社が指定するオプション品を使用しない場合、基準に適合できない恐れがあります。

本装置は、社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

本装置は、高調電波電流を抑制する日本工業規格 JIS C 61000-3-2 に適合しております。

当社は国際エネルギー省プログラムに参加事業者として、本製品が国際エネルギー省プログラムの基準に適合していると判断します。



製品の仕様は販売地域により異なります。お買い求めの地域に合った言語の取扱説明書をご確認ください。

Copyright © 2008 株式会社ナナオ All rights reserved.

1. 本書の著作権は株式会社ナナオに帰属します。本書の一部あるいは全部を株式会社ナナオからの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
4. 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
5. 乱丁本、落丁本の場合はお取り替えいたします。販売店までご連絡ください。

Apple、Macintosh、Mac OS、ColorSync は Apple Inc. の登録商標です。

VGA は International Business Machines Corporation の登録商標です。

VESA は Video Electronics Standards Association の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows、Windows Vista は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

PowerManager、ColorNavigator、UniColor Pro は株式会社ナナオの商標です。EIZO、ColorEdge、

ScreenManager は株式会社ナナオの日本およびその他の国における登録商標です。

その他の各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

モニターについて

- 本製品は、文書作成やマルチメディアコンテンツの閲覧など一般的な用途の他、色の再現性を重視するグラフィック制作やデジタルフォト加工の用途にも適しています。
- 本製品は、日本国内専用品です。日本国外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。
This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.
- 本書に記載されている用途以外での使用は保証外となる場合があります。
- 本書に定められている仕様は、付属の電源コードおよび当社が指定する信号ケーブル使用時にのみ適用いたします。
- 本製品には、当社オプション品または当社が指定する製品をお使いください。
- 製品内部の電気部品の動作が安定するまでに 30 分程度かかりますので、調整はモニターの電源を入れて 30 分以上経過してからおこなってください。
- 経年使用による輝度変化を抑え、安定した輝度を保つためには、ブライトネスを下げて使用されることをおすすめします。
- 同じ画像を長時間表示することによって、表示を変えたときに前の画像が残像として見えることがあります。長時間同じ画像を表示するようときには、スクリーンセーバーやタイマー機能の活用をおすすめします。
- 本製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングをおこなうことをおすすめします。(次ページ「[クリーニングのしかた](#)」参照)
- 液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯する画素が見える場合がありますので、あらかじめご了承ください。また、有効ドット数の割合は 99.9994% 以上です。
- 液晶パネルに使用される蛍光管(バックライト)には寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたり、点灯しなくなったときには、販売店またはエイソーサポートにお問い合わせください。
- 液晶パネル面やパネルの外枠は強く押さないでください。強く押すと、干渉縞が発生するなど表示異常を起こすことがありますので取り扱いにご注意ください。また、液晶パネル面に圧力を加えたままにしておきますと、液晶の劣化や、パネルの破損などにつながる恐れがあります。(液晶パネルを押したあとが残った場合、画面全体に白い画像または黒い画像を表示すると解消されることがあります。)
- 液晶パネルを固いものや先の尖ったもの(ペン先、ピンセット)などで押したり、こすったりしないようにしてください。傷がつく恐れがあります。なお、ティッシュペーパーなどで強くこすっても傷が入りますのでご注意ください。
- 本製品を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、製品の表面や内部に露が生じることがあります(結露)。結露が生じた場合は、結露がなくなるまで製品の電源を入れずにお待ちください。そのまま使用すると故障の原因となることがあります。

クリーニングのしかた

【注意点】

- 溶剤や薬品（シンナーやベンジン、ワックス、アルコール、その他研磨クリーナーなど）は、キャビネットや液晶パネル面をいためるため絶対に使用しないでください。
-

【液晶パネル面】

- 汚れのふき取りにはコットンなどの柔らかい布や、レンズクリーナー紙のようなものをご使用ください。
- 落ちにくい汚れは、付属の「ScreenCleaner」をご利用いただくか、少量の水をしめらせた布でやさしくふき取ってください。ふき取り後、もう一度乾いた布でふいていただくと、よりきれいな仕上がりとなります。

【キャビネット】

- 柔らかい布を中性洗剤でわずかにしめらせ、汚れをふき取ってください。（使用不可の洗剤については上記の注意点を参照してください。）

モニターを快適にご使用いただくために

- 画面が暗すぎたり、明るすぎたりすると目に悪影響をおよぼすことがあります。状況に応じてモニター画面の明るさを調整してください。
- 長時間モニター画面を見続けると目が疲れますので、1時間に10分程度の休憩を取ってください。

第1章 はじめに

このたびは当社カラー液晶モニターをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

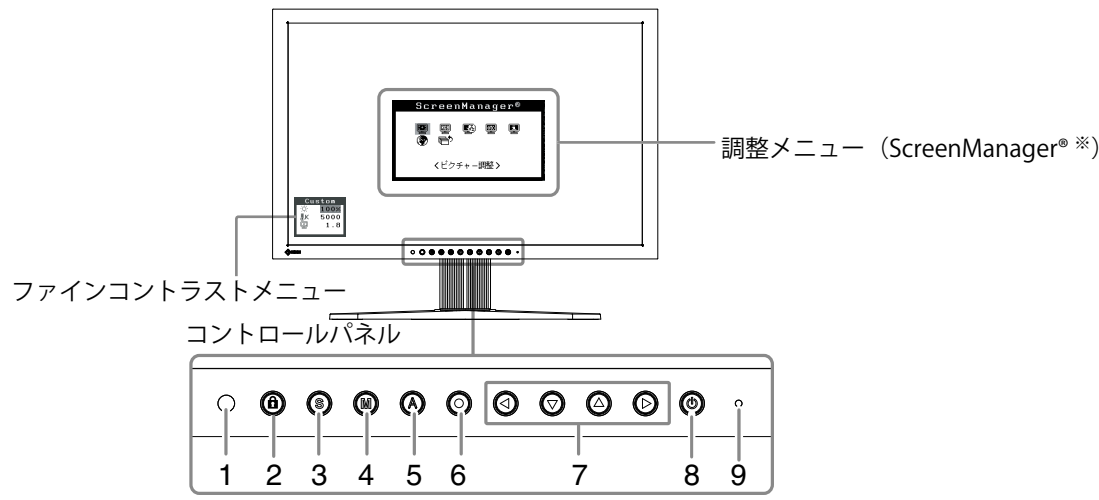
1-1. 特長

- 22 インチワイドフォーマット
- Adobe RGB カバー率 92%
- HDCP 対応
- 2 系統信号入力搭載 (DVI-I × 2)
- DVI デジタル入力 (TMDS) 対応
- 水平周波数: アナログ信号入力時 24 ~ 82kHz、
デジタル信号入力時 31 ~ 65kHz
- 垂直周波数: アナログ信号入力時 47.5 ~ 86Hz
(1280 x 1024 モード時 47.5 ~ 76Hz/1680 x 1050 モード時 :47.5 ~ 61Hz)
デジタル信号入力時 47.5 ~ 61Hz、(VGA TEXT 時 69 ~ 71Hz)
- 表示解像度: 1680 ドット × 1050 ライン
- フレーム同期モード対応 (59 ~ 61Hz)
- 縦型表示対応 (時計回りに 90° 回転)
- モニター特性の測定と調整、ICC プロファイル (for Windows)、Apple ColorSync プロファイル (for Macintosh) の作成が可能なキャリブレーションソフトウェア「ColorNavigator」を添付 (「1-3. ユーティリティディスクについて」(P.7) を参照)
- 色覚シミュレーションソフトウェア「UniColor Pro」対応
(当社ホームページ <http://www.eizo.co.jp> からダウンロードできます。)
- スムージング (ソフト〜シャープ) 機能搭載
- ファインコントラスト機能を搭載し、表示画像に適した画面選択が可能 (「3-3. カラー調整をする」(P.16) 参照)
- 高さ調整機能付きスタンドによる、自由な高さ調整
- BrightRegulator (ブライトレギュレーター) 機能搭載
- モニター一台ごとの工場出荷時の階調特性とユニフォミティ特性をデータ化した、調整データシート付属
- 遮光フード標準添付

参考

- 本機はモニターの縦型表示に対応しています。縦型表示にした場合は、調整メニューの向きも変更することができます (「3-10. 調整メニューの表示方向を設定する」(P.23) 参照)。
- モニターを縦型表示にした場合、ご使用のグラフィックスボードによっては設定を変更する必要があります。詳細は、グラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。

1-2. 操作ボタンの名称



- 1. センサー (BrightRegulator)
- 2. 調整ロックボタン
- 3. 入力切替ボタン
- 4. モードボタン
- 5. オートボタン
- 6. エンターボタン
- 7. コントロールボタン (左・下・上・右)
- 8. 電源ボタン
- 9. 電源ランプ

ランプ状態	動作状態
青	画面表示
青点滅 (素早く 2 回)	ColorNavigator でタイマーを設定した場合に、再キャリブレーション実行の必要性を通知 (CAL モードまたは EMU モード)
橙	節電モード
消灯	電源オフ

※ ScreenManager® は当社調整メニューのニックネームです。

1-3. ユーティリティディスクについて

本機には「EIZO LCD ユーティリティディスク」(CD-ROM) が付属しています。ディスクの内容やアプリケーションソフトウェアの概要は、下記を参照してください。

ディスクの内容と概要

ディスクには、調整用のソフトウェア、取扱説明書が含まれています。各項目の起動方法や参照方法はディスク内の Readmeja.txt または「お読みください」を参照してください。

項目	概要	Windows 用	Macintosh 用
Readmeja.txt または「お読みください」ファイル		○	○
ColorNavigator	モニター特性の測定と調整、ICC プロファイル (for Windows)、Apple ColorSync プロファイル (for Macintosh) の作成がおこなえるソフトウェアです。(USB ケーブルによるモニターとコンピュータの接続が必要です。) 後述参照	○	○
画面調整ユーティリティ	アナログ信号入力の画面を手動で調整する際に使用するパターン表示ソフトウェアです。	○	—
画面調整パターン集	アナログ信号入力の画面を手動で調整する際に役立つパターン集です。画面調整ユーティリティが、ご使用のコンピュータに対応していない場合、このパターン集を使って調整することができます。	○	—
取扱説明書 (PDF ファイル)		○	○

「ColorNavigator」を使用するときは

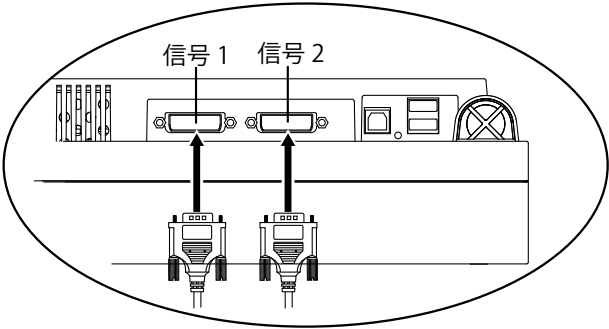
インストール方法、使用方法については、ディスク内の取扱説明書を参照してください。ソフトウェアを使用する場合は、モニターとコンピュータを付属の USB ケーブルで接続してください。詳細は、「[2-2.USB \(Universal Serial Bus\) の活用について](#)」(P.10) を参照してください。

第 2 章 設置する

2-1.2 台のコンピュータをつなぐ

本機は、背面の DVI-I コネクタに 2 台のコンピュータを接続し、切り替えて表示することができます。

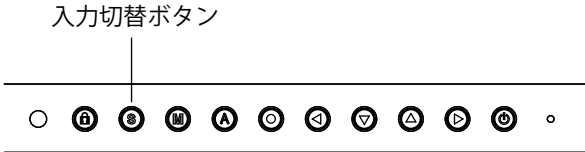
接続例



コンピュータ 1				コンピュータ 2			
例 1	デジタル	DVI	信号ケーブル (付属 FD-C39)	信号ケーブル (付属 FD-C16)	D-Sub 15 ピン (ミニ)	アナログ	
例 2	アナログ	D-Sub 15 ピン (ミニ)	信号ケーブル (オプション VI200)	信号ケーブル (付属 FD-C16)	D-Sub 15 ピン (ミニ)	アナログ	

入力信号の切替方法

Ⓢを押して入力信号を切り替えます。押すたびに信号が切り替わります。なお、信号を切り替えた時には、現在表示されている信号の種類（入力信号 1 または 2 / アナログまたはデジタル）が画面右上に表示されます。



2 台のコンピュータを接続した時、どちらか一方のコンピュータを優先的に表示させることができます。モニターは定期的に入力信号を確認し、＜入力プライオリティ＞設定で優先のおかれている信号が入力されてきた場合、そちらの信号に自動で切り替わります。

コンピュータが 1 台しか接続されていない場合は、優先設定が入力信号 1 または 2 のどちらに設定されていても、信号は自動検知されます。

優先設定	機能
1	コンピュータが2台接続されている場合は、以下の場合に優先入力設定が機能します。 ・モニターの電源を入れたとき ・「SIGNAL2」を表示していても「SIGNAL1」の信号状態が変化した場合
2	コンピュータが2台接続されている場合は、以下の場合に優先入力設定が機能します。 ・モニターの電源を入れたとき ・「SIGNAL1」を表示していても「SIGNAL2」の信号状態が変化した場合
マニュアル	コンピュータの信号を自動検知しません。Ⓢで表示させたい入力信号を選択してください。

注意点

• 節電機能について

<入力プライオリティ>で「1」または「2」が選択されている場合は、2台のコンピュータの両方が節電モードに入っている場合のみモニターの節電機能が動作します。

2-2. USB（Universal Serial Bus）の活用について

本機は USB 規格に対応しているハブを搭載しています。USB 対応のコンピュータまたは他の USB ハブに接続することにより、本機が USB ハブとして機能し、USB に対応している周辺機器と接続できます。

必要なシステム環境

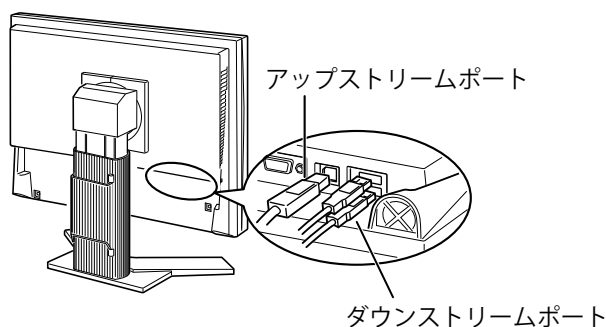
- USB ポートを搭載したコンピュータ、あるいは USB 対応のコンピュータに接続している他の USB ハブ
- Windows 2000/XP/Vista または Mac OS 9.2.2 および Mac OS X 10.2 以降
- EIZO USB ケーブル（MD-C93）

注意点

- 使用するコンピュータおよび周辺機器によっては動作しない場合がありますので、各機器の USB 対応については各メーカーにお問い合わせください。
- 使用する機器は USB Rev. 2.0 対応のものをおすすめします。
- モニターが節電モードの場合、またモニターの電源を切っても、電源プラグをコンセントに接続している場合は、USB ポート（アップストリームおよびダウンストリーム）に接続されている機器が動作します。そのためモニターの消費電力は、節電モードであっても接続される機器によって変化します。
- 以下は Windows 2000/XP/Vista および Mac OS の場合の手順です。

接続方法（USB 機能のセットアップ方法）

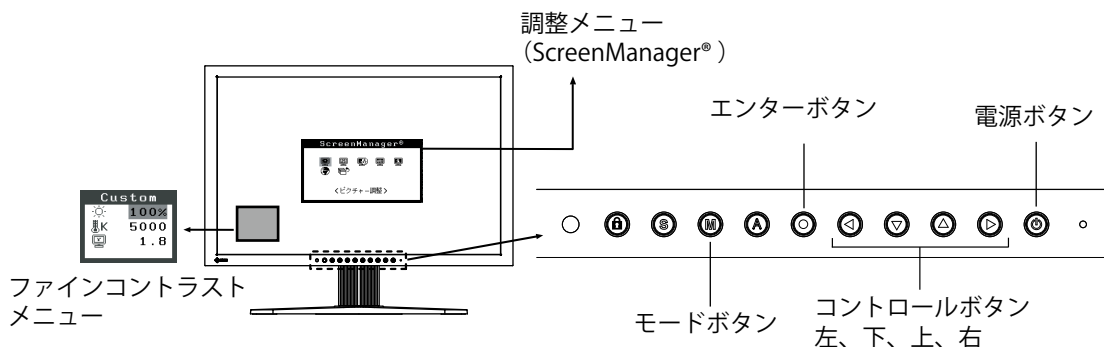
- 1** はじめにコンピュータとモニターを信号ケーブルで接続し、コンピュータを起動しておきます。
- 2** USB 対応のコンピュータ（あるいは他の USB ハブ）のダウンストリームとモニターのアップストリームを USB ケーブルで接続します。
USB ケーブルの接続より自動的に USB 機能がセットアップされます。
- 3** セットアップが完了すると、モニターが USB ハブとして機能し、さまざまな USB 対応の周辺機器をモニターの USB ポート（ダウンストリーム）に接続することができます。



第3章 画面調整と設定をする

3-1. 基本操作方法と機能一覧

画面調整 / 設定とファインコントラストのモード切替が簡単にできます。



注意点

- 調整メニューとファインコントラストメニューを同時に表示させることはできません。

1 メニューの表示

⊙を押し、調整メニューを表示します。

2 調整 / 設定

- ⊙⬇⬆⬇⬆で、調整 / 設定したい項目を選択し、⊙を押して、選択した項目のサブメニューを表示します。
- ⊙⬇⬆⬆⬆で、調整 / 設定したい項目を選択し、⊙を押して、選択した項目の調整 / 設定メニューを表示します。
- ⊙⬇⬆⬆⬆で調整 / 設定し、⊙を押して確定します。

3 終了

- サブメニューより<リターン>を選択し (⬆を2回押すと移動します。)、⊙を押して、調整メニューに戻ります。
- 調整メニューより<メニューオフ>を選択し (⬆に2回押すと移動します。)、⊙を押して、調整メニューを終了します。

参考

- ⊙をすばやく続けて2回押すと調整メニューを終了させることができます。

機能一覧

調整メニューの調整、および設定項目一覧表です。「*」はアナログ信号入力のみ、「**」はデジタル信号入力のための機能です。

メインメニュー	サブメニュー		調整 / 設定内容
ピクチャー調整	クロック	*	「3-2. 画像を調整する」
	フェーズ	*	
	ポジション	*	
	解像度	*	
	レンジ調整	*	
	スムージング		
	信号フィルタ	*	
カラー (Custom)* ¹	ブライトネス		「3-3. カラー調整をする」
	色温度		
	ガンマ		
	色の濃さ		
	色合い		
	ゲイン		
	6色調整		
	リセット		
PowerManager	DVI DPM	**	「3-4. 節電設定をする」
	VESA DPMS	*	
	オフ		
その他	拡大モード		「3-9. 推奨解像度以外でご利用の場合」
	ボーダー		
	入力プライオリティ		優先的に表示される信号を選択設定する
	オフタイマー		タイマー機能（使用時間）を設定する
	ビープ音		ビープ音を設定する
	メニュー設定	メニューサイズ	メニューサイズを拡大する
		メニューポジション	メニュー位置を移動する
		メニュー オフタイマー	メニュー表示時間を設定する
		半透明	メニューの透明度を設定する
		設置方向	メニューの表示方向を設定する
	BrightRegulator		明るさの自動調整を設定する
	電源ランプ		画面表示時の電源ランプ（青）を無灯にする（電源ランプ設定）
	リセット		調整 / 設定状態をすべて初期設定に戻す
インフォメーション	インフォメーション		設定状況および機種名、製造番号、モニターの使用時間 * ² を確認する
言語選択	英語・ドイツ語・フランス語・ スペイン語・イタリア語・ スウェーデン語・中国語（簡体字）・ 中国語（繁体字）・日本語		調整メニューの言語を選択する

*¹ <カラー>メニューで調整 / 設定できる機能はファインコントラストのモードにより異なります。表は Custom モードの場合のサブメニューです。（「3-3. カラー調整をする」参照）

*² 工場検査などのため、購入時に使用時間が「0」ではない場合があります。

3-2. 画面調整をする

注意点

- 調整はモニターの電源を入れて、30分以上経過してからおこなってください。
(内部の電気部品の動作が安定するのに約30分かかります。)

デジタル信号入力の場合は、本機の設定データに基づいて画面が正しく表示されます。

アナログ信号入力の場合

モニターの画面調整とは、使用するコンピュータに合わせ、画面のちらつきを抑えたり画像の表示位置やサイズを正しく調整するためのものです。快適に使用していただくために、モニターを初めてセットアップしたときや使用しているコンピュータの設定を変更した場合には、画面の調整をしてください。

調整手順

1 自動サイズ調整をします。

- ④を押します。
「もう一度オートボタンを押すとオートアジャストが実行されます」のメッセージが5秒間表示されます。
- メッセージが表示されている間にもう一度④を押します。
自動調整機能が働き（動作中であることを示すアイコンが表示されます）、画面のちらつき・表示位置・サイズが正しく調整されます。

注意点

- この機能は Macintosh や Windows など画面の表示可能エリア全体に画像が表示されている場合に正しく動作します。コマンドプロンプトのような画面の一部にしか画像が表示されていない場合や、壁紙など背景を黒で使用している場合には正しく動作しません。
- 一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合があります。

④で調整しきれない場合は以降の手順にしたがって調整をおこなってください。正確に表示された場合は、5. レンジ調整にお進みください。

2 アナログ画面調整用のパターンを準備します。

Windows の場合

- 「EIZO LCD ユーティリティディスク」をコンピュータにセットします。
- ディスクの起動メニューから「画面調整ユーティリティ」を起動します。起動できない場合は、画面調整パターン集を開きます。

Windows 以外の場合

当社ホームページ (<http://www.eizo.co.jp>) から「画面調整パターン集」をダウンロードしてください。

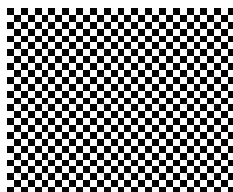
参考

- 画面調整パターン集の開き方および内容については、Readmeja.txt あるいは「お読みください」を参照してください。

3 アナログ画面調整用のパターンを表示して、再度自動サイズ調整をします。

画面のちらつき・表示位置・サイズを自動調整する

1. 「画面調整ユーティリティ」または画面調整パターン集を使用して、パターン1を全画面に表示します。



2. **Ⓐ**を押します。
「もう一度オートボタンを押すとオートアジャストが実行されます」のメッセージが5秒間表示されます。
3. メッセージが表示されている間にもう一度 **Ⓐ**を押します。
動調整機能が働き（動作中であることを示すアイコンが表示されます）、画面のちらつき・表示位置・サイズが正しく調整されます。

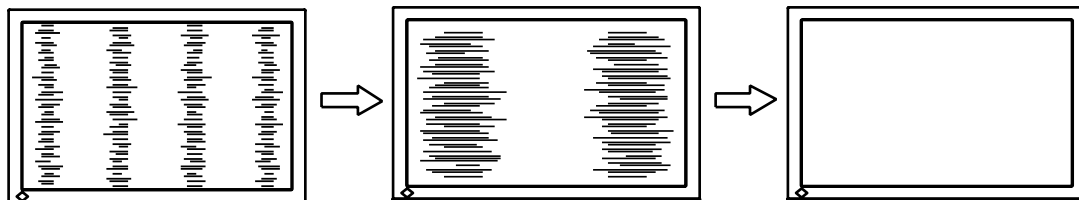
4 調整メニューの<ピクチャー調整>メニューにより調整します。

- (1) 縦縞が出ている場合

→ **Ⓐ** <クロック>を調整します。

<クロック>を選択し、**Ⓐ**を使用して縦縞が消えるように調整します。調整が合ったポイントを見逃しやすいので**Ⓐ**をゆっくり押して調整するようにしてください。

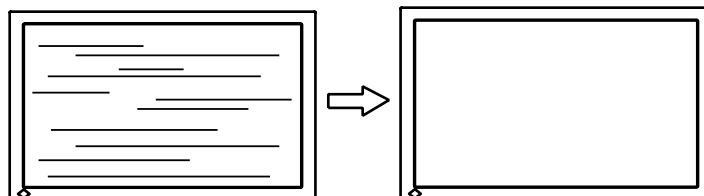
調整後、画面全体ににじみやちらつき、横線が出た場合は次の「(2) フェーズ調整」にすみ調整をおこなってください。



- (2) ちらついたり、にじむように見える場合

→ **Ⓑ** <フェーズ>を調整します。


<フェーズ>を選択し、**Ⓑ**を使用して最もちらつきやにじみのない画面に調整します。




注意点

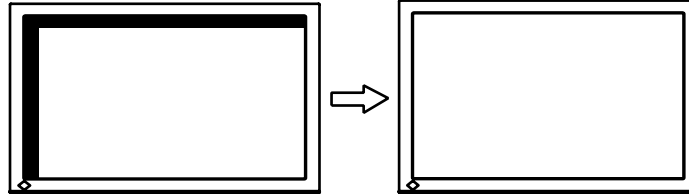
- ・お使いのコンピュータやグラフィックスボードによっては、完全になくなるものがあります。

(3) 表示位置がずれている場合


→  <ポジション>を調整します。



液晶モニターは画素数および画素位置が固定であるため、画像の正しい表示位置は1箇所です。ポジション調整とは画像を正しい位置に移動させるための調整です。

<ポジション>を選択し、画像の左上とマーカーが合うようにで調整します。調整後、画面に縦縞が現れた場合は、「(1) クロック調整」に戻り、再度調整をおこなってください。(クロック→フェーズ→ポジション)

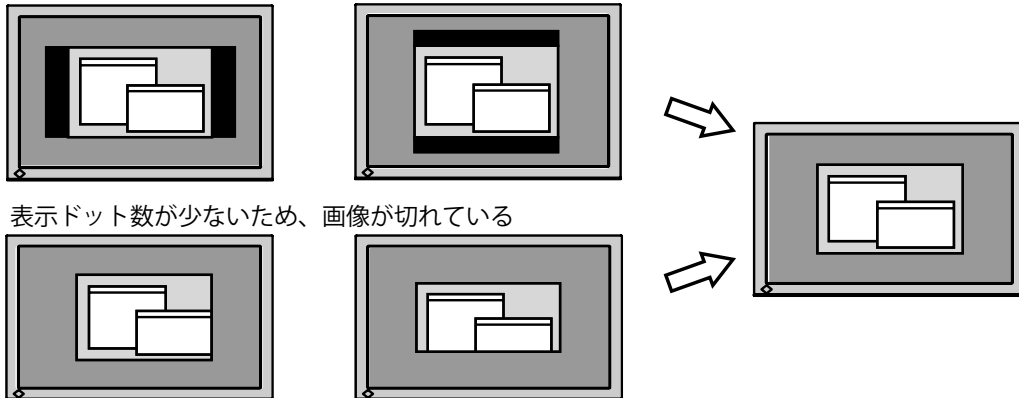


(4) 余分な画像が表示されていたり、画像が切れている場合

→  <解像度>を確認します。


<解像度>を選択し、調整メニューに表示されている解像度と、入力信号の解像度が同じになるようにで垂直方向の解像度を、で水平方向の解像度を調整します。

表示ドット部が多いため、余分な画像が表示されている



表示ドット数が少ないため、画像が切れている

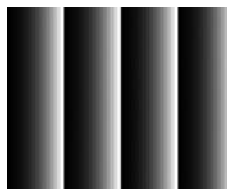
5 信号の出力レンジ（レンジ調整）を調整します。



→  <ピクチャー調整>メニューの<レンジ調整>で調整します。

信号の出力レベルを調整し、すべての色階調（0～255）を表示できるように調整します。

【設定方法】

1. 「画面調整ユーティリティ」または画面調整パターン集を使用して、パターン2を全画面に表示します。



2. <ピクチャー調整>メニューで<レンジ調整>を選択し、を押します。
「オートボタンを押すとオートレンジが実行されます」のメッセージが表示されます。
3. メッセージが表示されている間に、を押します。
色階調が自動的に調整されます。
4. パターン2を閉じます。「画面調整ユーティリティ」を起動している場合は終了します。

3-3. カラー調整をする

簡易調整 [ファインコントラストモード]

モニターの明るさなどを表示画像に適した表示モードに切り替えることができます。

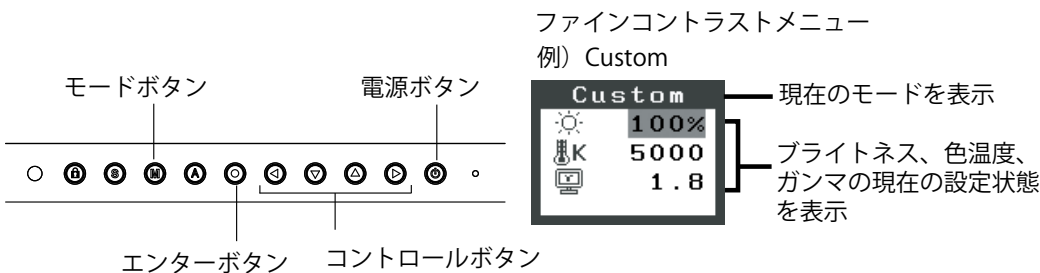
ファインコントラストモードを選択する

Ⓜを押すと、ファインコントラストメニューが画面左下に表示されます。Ⓜボタンを押すたびに4つのモードが順に切り替わり表示されます。
⓪を押すと終了します。

→ Custom → sRGB → EMU → CAL →

参考

- 調整メニューとファインコントラストメニューを同時に表示させることはできません。



ファインコントラストモードの種類

表示画像に最適な表示モード（4種類）を選択できます。

モード	目的
Custom	好みに応じた色設定
sRGB	インターネット上などで、原画像に基づいた色合いで表示
EMU	キャリブレーションソフトウェアによる調整状態で表示
CAL	

ファインコントラストモードのカラー設定を変更する

ファインコントラストメニューで<ブライツネス>、<色温度>、<ガンマ>の調整/設定ができます。
⓪△で調整/設定したい項目を選択し、⓪⓷で値を調整/設定します。（色温度、ガンマの値はモードによっては固定されています）。

注意点

- 「EMU」モード、「CAL」モードでは、キャリブレーションソフトウェア「ColorNavigator」による調整のみおこなうことができます。

詳細調整 [調整メニュー]





調整メニューの<カラー>メニューで、ファインコントラストモードごとに独立した、カラー調整の設定、保存ができます。

アナログ信号のカラー調整をおこなうときは、まず<レンジ調整>をおこなってください。カラー調整中にファインコントラストモードの変更はできません。あらかじめ、ファインコントラストモードを④で設定しておいてください。

調整項目

ファインコントラストモードにより、<カラー>メニューで調整 / 設定できる機能が異なります（表示メニューも異なります）。

○：調整 / 設定可 —：工場にて設定済み





アイコン	機能名		ファインコントラストモード			
			Custom	sRGB	EMU	CAL
	ブライトネス	*	○	○	—	—
	色温度	*	○	—	—	—
	ガンマ	*	○	—	—	—
	色の濃さ		○	—	—	—
	色合い		○	—	—	—
	ゲイン		○	—	—	—
	6色調整		○	—	—	—
	リセット		○	○	—	—

* これらの調整項目はファインコントラストメニューでも調整 / 設定ができます。

注意点

- 調整はモニターの電源を入れて、30分以上経過してからおこなってください。（内部の電気部品の動作が安定するのに約30分かかります。）
- モニターにはそれぞれ個体差があるため、複数台を並べると同じ画像でも異なる色に見える場合があります。複数台の色を合わせるときは、視覚的に判断しながら微調整してください。

調整内容

メニュー	内容	調整範囲
ブライトネス 	画面全体の明るさを好みの状態に調整する	0 ~ 100%
	参考 ・「%」表示は調整値の目安としてご利用ください。	
色温度 	色温度を選択する	4000K ~ 10000K まで 500K 単位で選択します。(9300K 含む)
	参考 ・「K」表示は参考値としてご利用ください。 ・色温度を調整すると、色温度に応じて<ゲイン>が自動調整されます。 ・4000K より低く、あるいは 10000K より高くすると、設定が「オフ」になります。 ・本設定は<ゲイン>の設定をすると無効になります。	
ガンマ 	ガンマ値を設定する	1.8 ~ 2.6
	参考 ・ガンマ機能についてはデジタル信号入力でのご使用をおすすめします。アナログ信号入力の場合は 1.8 ~ 2.2 に設定してください。	
色の濃さ 	色を鮮やかにする	-100 ~ 100 最小値 (-100) で白黒の画面となります。
	注意点 ・本機能を使用することにより、すべての色階調を表示できないことがあります。	
色合い 	肌色などを好みの色合いにする	-100 ~ 100
	注意点 ・本機能を使用することにより、すべての色階調を表示できないことがあります。	
ゲイン 	赤、緑、青をそれぞれ調整し、好みの色調にする	0 ~ 100% 赤、緑、青のそれぞれの明度を調整することにより、任意の色調を作ります。背景が白またはグレーの画像を表示して調整してください。
	参考 ・「%」表示は調整値の目安としてご利用ください。 ・本設定は<色温度>の設定をすると無効になります。ゲインの設定は色温度に応じて変化します。	
6色調整 	<色合い>、<色の濃さ>を Red, Yellow, Green, Cyan, Blue, Magenta それぞれ個別に調整する	色合い：-100 ~ 100 色の濃さ：-100 ~ 100
リセット 	カラー調整状態をすべて初期状態に戻す	<リセット>を実行します。

3-4. 節電設定をする

ScreenManager の＜PowerManager＞メニューで節電機能を設定できます。

【注意点】

- 完全な節電のためにはモニターの電源を切ることをおすすめします。また、電源プラグを抜くことで、確実にモニター本体への電源供給は停止します。
- モニターが節電モードに入っても、USB 機器が接続されている場合、USB 機器は動作します。そのためモニターの消費電力は、節電モードであっても接続される機器によって変化します。

アナログ信号入力の場合

本機は「VESA DPMS」に準拠しています。

【設定方法】

1. コンピュータの節電機能を設定します。
2. ＜PowerManager＞メニューより、「VESA DPMS」を選択します。

【節電の流れ】

コンピュータの状態		モニターの状態	電源ランプ
	オン	オペレーションモード	青
節電モード	スタンバイ サスペンド オフ	節電モード	橙

【復帰方法】

キーボードまたはマウスを操作します。

デジタル信号入力の場合

本機は「DVI DMPM」に準拠しています。

【設定方法】

1. コンピュータの節電機能を設定します。
2. ＜PowerManager＞メニューより、「DVI DMPM」を選択します。

【節電の流れ】

コンピュータの設定に連動し5秒後に節電モードに入ります。

コンピュータの状態		モニターの状態	電源ランプ
	オン	オペレーションモード	青
	節電モード	節電モード	橙

【復帰方法】

コンピュータ / 節電モードからの復帰：キーボードまたはマウスを操作します。

3-5. オフタイマー機能を使用する

モニターの使用時間を設定することにより、設定した時間が経過すると自動的にモニターの電源がオフされます。モニターに長時間同じ画像を表示させていると生じる残像現象を軽減するための機能です。一日中同じ画像を表示させておくような場合にご利用ください。

〔設定方法〕

1. ScreenManager の<その他>メニューより<オフタイマー>を選択します。
2. 「有効」を選択した後、モニターの使用時間（1 ～ 23 時間）を設定します。

〔オフタイマーの流れ〕

タイマー	モニターの状態	電源ランプ
設定時間（1H ～ 23H）	オン	青点灯
設定時間終了 15 分前	予告期間 ^{*1}	青点滅
設定時間終了後	電源オフ	オフ

^{*1} 予告期間中に \odot を押すと、設定時間を 90 分に再設定できます。再設定は回数に制限がなく何度でもできます。

〔復帰方法〕

\odot を押します。

注意点

- ・節電モード時でもオフタイマーは機能しますが、予告機能は働きません。予告なしに電源がオフされます。

3-6. 設定をロックする

一度調整 / 設定した状態をむやみに変更したくないときにご利用ください。

ロックできるボタン	<ul style="list-style-type: none">・\odot（エンターボタン） 調整メニューによる調整 / 設定・\odot（モードボタン）・\odot（オートボタン）・$\odot + \odot$ EIZO ロゴ表示設定（P.23 参照）
ロックできないボタン	<ul style="list-style-type: none">・\odot（入力切替ボタン）・\odot（電源ボタン）・\odot（調整ロックボタン）

〔設定方法〕

\odot を 2 秒以上押すと、電源ランプが 1 秒間橙点灯し、調整ロックがかかります。

〔解除方法〕

\odot を 2 秒以上押すと、電源ランプが 1 秒間橙点灯し、調整ロックが解除されます。

3-7. 電源ランプを非表示にする

画面表示時の電源ランプ（青）を無灯にすることができます（初期設定では、電源ランプは電源を入れたときに点灯します）。

【設定方法】

1. ScreenManager の<その他>メニューより<電源ランプ>を選択します。
2. 「無効」に設定します。

3-8. 明るさの自動調整を設定する

モニター正面のセンサーが周囲の明るさを検知し、明るさに応じて自動的に画面の明るさを調整します。

【設定方法】

1. ScreenManager の<その他>メニューより< BrightRegulator >を選択します。
2. 「有効」に設定します。


【注意点】


- 「EMU」モード、「CAL」モードでは、使用できません。

3-9. 推奨解像度以外でのご使用の場合

推奨解像度以外の解像度は 1680 × 1050 に（画面いっぱい）自動的に拡大されますが、
 <その他>メニューの<拡大モード>機能を使用して表示サイズを切り替えることができます。

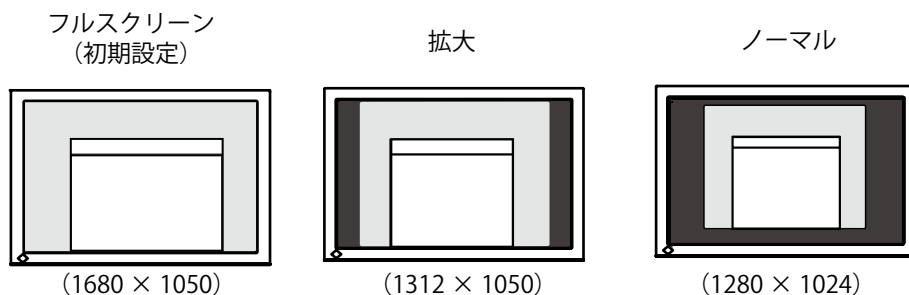
1 画像の表示サイズを変更する場合

→  <拡大モード>で切り替えます。


<その他>メニューより<拡大モード>を選択し、 でモードを選択します。

モード	機能
フルスクリーン	画面いっぱいに画像を表示します。ただし、拡大比率は縦・横一定ではないため、表示画像に歪みが見られる場合があります。
拡大	画面いっぱいに画像を表示します。ただし、拡大比率を縦・横一定にするため、水平・垂直のどちらかの方向に画像が表示されない部分が残る場合があります。
ノーマル	設定した解像度のままの大きさで画像が表示されます。

例：1280x1024 を表示した場合



2 文字や線がぼやけて見える場合

→  <スムージング>の設定を切り替えます。


「フルスクリーン」、「拡大」モードで表示した場合、表示された画像の文字や線がぼやけて見える場合があります。

<ピクチャー調整>メニューより<スムージング>を選択し、1～5段階（ソフト～シャープ）から好みに応じて選択します。


注意

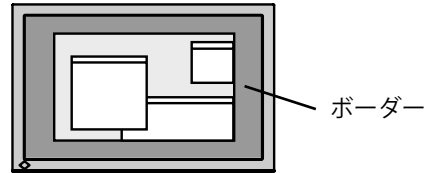
- 表示解像度によってはスムージングの設定をする必要はありません（スムージングアイコンを選択することはできません）。

3 画像が表示されていない部分（ボーダー）の明るさを設定する場合

→  <ボーダー> で設定します。

「ノーマル」、「拡大」モード時には、画像の周囲にボーダー（画像が表示されていない暗い部分）が表示されます。


<その他>メニューより<ボーダー>を選択し、で調整します。



3-10. 調整メニューの表示方向を設定する

調整メニューの表示方向を変更することができます。

【設定方法】

1. 調整メニューの<その他>メニューより<メニュー設定>を選択します。
2. <メニュー設定>メニューより<設置方向>を選択します。
3. で「横置き / 縦置き」を設定します。
4. モニターの画面を時計回りに 90° 回転します。




参考

- モニターを縦型表示にした場合、ご使用のグラフィックスボードによっては設定を変更する必要があります。詳細は、グラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。




3-11. EIZO ロゴを非表示にする

本機の電源を入れた時に、EIZO ロゴが画面中央に表示されます。このロゴの表示 / 非表示の切り替えができます（初期設定ではロゴが表示されます）。

【設定方法】

1. を押して、いったん電源を切ります。
2. を押しながらを入れると、ロゴが表示されなくなります。




【解除方法】



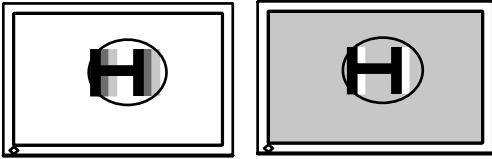
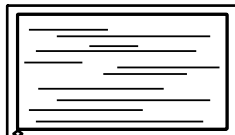

1. を押して、電源を切ります。
2. を押しながらを入れると、再びロゴが表示されます。

第4章 故障かなと思ったら

症状に対する処置をおこなっても解消されない場合は、販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。

- 画面が表示されない場合 → 項目 1、2 を参照してください。
- 画面に関する症状 → 項目 3 ～ 14 を参照してください。
- その他の症状 → 項目 15 ～ 18 を参照してください。
- USB に関する症状 → 項目 19 を参照してください。

	症状	チェックポイント / 対処方法
画面が表示されない場合	1. 画面が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> • 電源コードは正しく差し込まれていますか。電源を切り、数分後にもう一度電源を入れてみてください。 • を押してみてください。
	• 電源ランプが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> • <ゲイン>のRGBの各調整値を高くしてみてください。 (P.18 参照)
	• 電源ランプが点灯：青色	<ul style="list-style-type: none"> • で入力信号を切り替えてみてください
	• 電源ランプが点灯：橙色	<ul style="list-style-type: none"> • マウス、キーボードを操作してみてください。 • コンピュータの電源が入っていますか。
	2. 以下のようなメッセージが表示される。	この表示はモニターが正常に機能していても、信号が正しく入力されないときに表示されます。
	• 信号が入力されていない場合の表示です。 (この表示は約 40 秒間表示されます。) <div data-bbox="359 940 670 1086" data-label="Image"> </div>	<ul style="list-style-type: none"> • コンピュータによっては電源オン時に信号がすぐに出られないため、左のような画面が表示されることがあります。 • コンピュータの電源が入っていますか。 • 信号ケーブルは正しく接続されていますか。 • で入力信号を切り替えてみてください。
	• 入力されている信号が周波数仕様範囲外であることを示す表示です（範囲外の周波数は赤色で表示されます）。 例： <div data-bbox="359 1265 670 1433" data-label="Image"> </div>	<ul style="list-style-type: none"> • コンピュータの設定が、本機で表示できる解像度、垂直周波数（セットアップマニュアル表紙裏「表示解像度について」参照）になっていますか。 • コンピュータを再起動してみてください。 • グラフィックスボードのユーティリティなどで、適切な表示モードに変更してください。詳しくはグラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。 <p>fD: ドットクロック (デジタル信号入力時のみ表示されます)</p> <p>fH: 水平周波数</p> <p>fV: 垂直周波数</p>

	症状	チェックポイント / 対処方法
画面に関する症状	3. 画像がずれている 	<ul style="list-style-type: none"> ・＜ポジション＞調整で画像の左上を画面上のマーカーに合わせてください。(P.15 参照) ・グラフィックスボードのユーティリティなどに画像の位置を変える機能があれば、その機能を使用して調整してください。
	4. 画像の一部が表示されない / 余分な画像が表示される	・＜解像度＞で入力信号の解像度と解像度調整メニューの解像度が合うように調整してください。(P.15 参照)
	5. 画面に縦線が出ている / 画面の一部がちらついている 	・＜クロック＞で調整してみてください。(P.14 参照)
	6. 画像が重なって見える / 画像の右側に明るい線が見える 	・＜信号フィルタ＞を調整してみてください。
	7. 画面全体がちらつく、にじむように見える 	・＜フェーズ＞で調整してみてください。(P.14 参照)
	8. 文字がぼやけて見える	・＜スムージング＞で調整してみてください。(P.22 参照)
	9. 画面の上部が下図のように歪む 	・コンポジットシンク (X-OR) の信号とセパレートシンクの垂直同期信号が同時に入力されている場合に起こります。入力する信号をコンポジットかセパレートのどちらか一方にしてください。
	10. 画面が明るすぎる / 暗すぎる	・＜ブライツネス＞を調整してください。(LCD モニターのバックライトには、寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたりするようになったら、エイゾーサポートにご相談ください。)
	11. 残像が現れる	<ul style="list-style-type: none"> ・長時間同じ画像を表示する場合に、スクリーンセーバーを設定したり、オフタイマー機能を活用してください。 ・この現象は液晶パネルの特性であり、固定画面で長時間使用することを極力避けることをおすすめします。
	12. 画面に緑、赤、青、白のドットが残るまたは点灯しないドットが残る	・これらのドットが残るのは液晶パネルの特性であり、故障ではありません。
	13. 画面上に干渉縞が見られる / パネルを押したあとが消えない	・画面全体に白い画像または黒い画像を表示してみてください。症状が解消されることがあります。
	14. 画面にノイズがあらわれる	<ul style="list-style-type: none"> ・アナログ信号入力の場合、＜ピクチャー調整＞の＜信号フィルタ＞でモードを切り替えてみてください。 ・HDCP 方式の信号を入力した場合、正常な画面がすぐに表示されないことがあります。

	症状	チェックポイント / 対処方法
その他の症状	15. 調整メニューにおいて、＜ピクチャー調整＞の＜スムージング＞アイコンが選択できない	<ul style="list-style-type: none"> 表示解像度によってはスムージングの設定をする必要はありません（スムージングアイコンを選択することはできません）。 以下の場合は選択できません。 <ul style="list-style-type: none"> 1680 × 1050 ＜拡大モード＞で「ノーマル」を選択している場合
	16. 調整メニューのメインメニューが起動できない	調整ロックが機能していないか確認してみてください。 (P.20 参照)
	17. ファインコントラストメニューが起動できない	調整ロックが機能していないか確認してみてください。 (P.20 参照)
	18. ㊦が正しく動作しない	<ul style="list-style-type: none"> ㊦（自動調整機能）はデジタル信号入力時には動作しません。 調整ロックが機能していないか確認してみてください。 (P.20 参照) 一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合があります。
USBに関する症状	19. USB ケーブルで接続したモニターが認識されない / モニターに接続している USB 周辺機器が動作しない	<ul style="list-style-type: none"> USB ケーブルは正しく差し込まれていますか。 別の USB ポートに差し替えてみてください。別のポートで正しく動作した場合は、エイゾーサポートにご相談ください。（詳しくはコンピュータの取扱説明書を参照してください。） 次の動作を試してみてください。 <ul style="list-style-type: none"> コンピュータを再起動してみる 直接コンピュータと周辺機器を接続してみる モニター（USB ハブ）に接続しない状態で各機器が正常に動作する場合は、お買い求めの販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。 USB ケーブルは正しく差し込まれていますか。 ご使用のコンピュータおよび OS が USB に対応しているかご確認ください。（各機器の USB 対応については各メーカーにお問い合わせください。） Windows をご使用の場合、コンピュータに搭載されている BIOS の USB に関する設定をご確認ください（詳しくはコンピュータの取扱説明書を参照してください）。

第5章 ご参考に

5-1. アーム取付方法

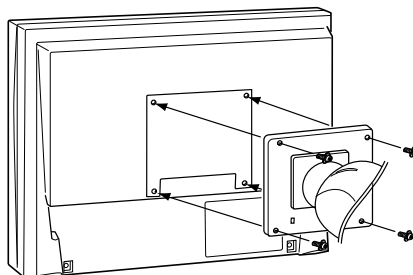
本機はスタンド部分を取り外すことによって、アーム（あるいは別のスタンド）に取り付けることが可能になります。

注意点

- 他社製のアームまたはスタンドを使用する場合は、以下の点をアームまたはスタンドメーカーにご確認のうえ、お選びください。
 - 取付部のネジ穴間隔
100mm × 100mm（VESA 規格準拠）
 - 耐荷重：モニター本体（スタンドなし）とケーブルなどの装着物の総重量に耐えられること
- ケーブル類は、アームを取り付けた後に接続してください。

取付方法

- 1** 液晶パネル面が傷つかないように、安定した場所に柔らかい布などを敷いた上に、パネル面を下に向けて置きます。
- 2** スタンド部分を取り外します。（別途ドライバーを準備ください。）
ドライバーを使って、本体部分とスタンドを固定しているネジ4箇所を取り外します。
- 3** モニターにアーム（またはスタンド）を取り付けます。
アームまたはスタンドの取扱説明書で指定のネジを使って取り付けます。



5-2. 仕様

液晶パネル		56cm (22.0) 型カラー TFT 表面処理：ハードコーティング 表面硬度：3H 応答時間：約 16ms
視野角		左右 178°、上下 178° CR ≥ 10
ドットピッチ		0.282mm
水平走査周波数	アナログ	24 ~ 82kHz (自動追従)
	デジタル	31 ~ 65kHz
垂直走査周波数	アナログ	47.5 ~ 86Hz (自動追従) (1280x1024 モード時: 47.5 ~ 76Hz) (1680x1050 モード時: 47.5 ~ 61Hz)
	デジタル	47.5 ~ 61Hz (VGA TEXT 時: 69 ~ 71Hz)
解像度		1680 ドット × 1050 ライン
ドットクロック (最大)	アナログ	150MHz
	デジタル	120MHz
最大表示色		1677 万色
推奨輝度		80cd/m ² 以下 (色温度: 5000K ~ 6500K 時)
表示サイズ (水平×垂直)		473.8mm × 296.1mm
電源		AC100V ± 10%、50/60Hz、0.75A
消費電力		最大: 75W (USB 機器接続時) 最小 (通常): 65W (USB 機器非接続時) 節電モード: 2W 以下 (1 系統入力時、USB 機器非接続時) 電源ボタンオフ時: 1W 以下 (USB 機器非接続時)
信号入力コネクタ		DVI-I コネクタ (HDCP 対応) × 2
アナログ信号 入力同期信号		セパレート、TTL、正 / 負極性
		コンボジット、TTL、正 / 負極性
アナログ信号 入力映像信号		アナログ、正極性 (0.7Vp-p/75 Ω)
デジタル信号伝送方式		TMDs (Single Link)
ビデオ信号メモリー	アナログ	45 種 (プリセット 24 種)
	デジタル	10 種 (プリセット 0 種)
プラグ&プレイ機能		VESA DDC 2B / EDID structure 1.3
寸法	本体	507mm (幅) × 439 ~ 521mm (高さ) × 230mm (奥行き)
	スタンドなし	507mm (幅) × 333mm (高さ) × 74mm (奥行き)
	遮光フード装着時	513mm (幅) × 445 ~ 527mm (高さ) × 340mm (奥行き)
質量	本体	約 11.2kg
	スタンドなし	約 7.7kg
	遮光フード装着時	約 12.0kg
環境条件	温度	動作温度範囲: 0°C ~ 35°C 輸送および保存温度範囲: -20°C ~ 60°C
	湿度	相対湿度範囲: 30% ~ 80% R.H. (非結露状態) 運送および保存湿度範囲: 30% ~ 80% R.H. (非結露状態)
	気圧	動作気圧範囲: 700 ~ 1060 hPa. 運送および保存気圧範囲: 200 ~ 1060 hPa.
USB	規格	USB Specification Revision 2.0 準拠
	ポート	アップストリーム × 1、ダウンストリーム × 2
	通信速度	480Mbps (ハイスピード)、12Mbps (フルスピード)、 1.5Mbps (ロースピード)
	供給電流	ダウンストリーム: 最大 500mA/1 ポート

主な初期設定（工場出荷設定）値

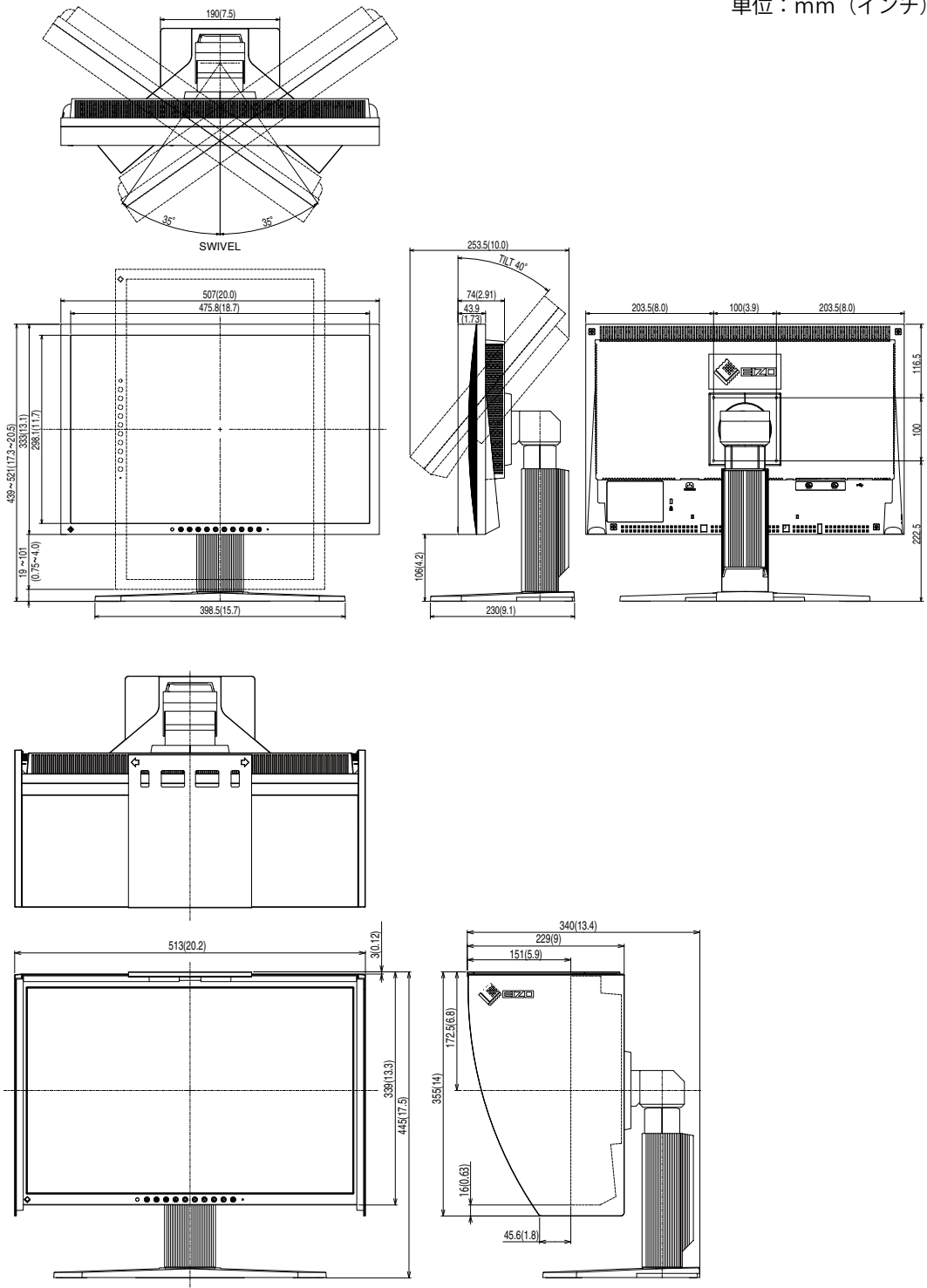
ブライトネス		33%
スムージング		3
色温度		5000K
ファインコントラストモード		Custom
PowerManager		アナログ信号入力時：VESA DPMS デジタル信号入力時：DVI DMPM
拡大モード		フルスクリーン
入力プライオリティ		1
オフタイマー		無効
メニュー設定	メニューサイズ	ノーマル
	メニューオフタイマー	45 秒
BrightRegulator		無効
ビープ音		オン
言語選択		日本語

ビープ音設定

ピッという音	◎で項目を選択した場合 ⏪⏩⏴⏵で設定値を最大または最小にした場合 Ⓚを押した場合 Ⓛでロックをかけた場合 / ロックを解除した場合
ピーという音	ⓐを押した場合 ◎で登録をおこなった場合
ピッピッピッピッという音	モニターの接続が正しく行われていない場合 コンピュータの電源が入っていない場合 使用範囲外の周波数を受信している場合
15 秒に 1 度ピッピッという音	オフタイマーで設定した電源オフ時間終了 15 分前（予告期間）

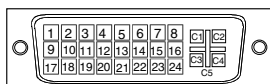
外観寸法

単位：mm（インチ）



入力信号接続

● DVI-I コネクタ

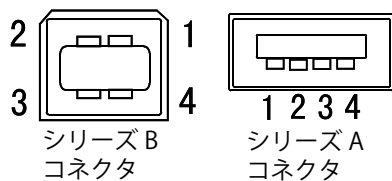


ピン No.	入力信号	ピン No.	入力信号	ピン No.	入力信号
1	TMDS Data 2-	11	TMDS Data1/3 Shield	21	NC*
2	TMDS Data 2+	12	NC*	22	TMDS Clock shield
3	TMDS Data2/4 Shield	13	NC*	23	TMDS Clock+
4	NC*	14	+5V Power	24	TMDS Clock-
5	NC*	15	Ground (return for +5V, Hsync and Vsync)	C1	Analog Red
6	DDC Clock (SCL)	16	Hot Plug Detect	C2	Analog Green
7	DDC Data (SDA)	17	TMDS Data0-	C3	Analog Blue
8	Analog Vertical Sync	18	TMDS Data0+	C4	Analog Horizontal Sync
9	TMDSData1-	19	TMDS Data0/5 Shield	C5	Analog Ground(analog R,G,&B return)
10	TMDS Data1+	20	NC*		

(*NC: No Connection)

● USB ポート

アップストリーム ダウンストリーム

シリーズ B
コネクタシリーズ A
コネクタ

接点番号	信号名	備考
1	VCC	Cable power
2	- Data	Serial data
3	+ Data	Serial data
4	Ground	Cable Ground

5-3. 用語集

色温度

白色の色合いを数値的に表したものを色温度といい、K: ケルビン（Kelvin）で表します。炎の温度と同様に、画面は温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。

5000K: やや赤みがかった白色

6500K: 暖色で紙色に近い白色

9300K: やや青みがかった白色

解像度

液晶パネルは決められた大きさの画素を敷き詰めて、その画素を光らせて画像を表示させています。本機の場合は横 1680 個、縦 1050 個の画素がそれぞれ敷き詰められています。このため、1680 × 1050 の解像度であれば、画像は画面いっぱい（1 対 1）に表示されます。

ガンマ

一般に、モニターは入力信号のレベルに対して非直線的に輝度が変化していきます。これをガンマ特性と呼んでいます。画面はガンマ値が低いとコントラストが弱く、ガンマ値が高いとコントラストが強くなります。

クロック

アナログ入力方式のモニターにおいて、アナログ入力信号をデジタル信号に変換して画像を表示する際に、使用しているグラフィックスシステムのドットクロックと同じ周波数のクロックを再生する必要があります。このクロックの値を調整することをクロック調整といい、クロックの値が正常でない場合は画面上に縦縞が現れます。

ゲイン

赤、緑、青それぞれの色の値を調整するものです。液晶モニターではパネルのカラーフィルターに光を通して色を表示しています。赤、緑、青は光の 3 原色であり、画面上に表示されるすべての色は 3 色の組み合わせによって構成されます。3 色のフィルターに通す光の強さ（量）をそれぞれ調整することによって、色調を変化させることができます。

フェーズ

アナログ入力信号をデジタル信号に変換する際のサンプリングタイミングのことです。このタイミングを調整することをフェーズ調整といいます。クロックを正しく調整した後でフェーズ調整をおこなうことをおすすめします。

レンジ調整

信号の出力レベルを調整し、すべての色階調を表示できるように調整します。カラー調整をおこなう前にはレンジ調整をおこなうことをおすすめします。

DVI (Digital Visual Interface)

デジタルインターフェース規格の一つです。コンピュータ内部のデジタルデータを損失なくダイレクトに伝送できます。伝送方式に TMDS、コネクタに DVI コネクタを採用しています。デジタル入力のみ対応の DVI-D コネクタと、デジタル / アナログ入力可能な DVI-I コネクタがあります。

DVI DMPM (DVI Digital Monitor Power Management)

デジタルインターフェースの節電機能のことです。モニターのパワー状態については Monitor ON（オペレーションモード）と Active Off（節電モード）が必須となっています。

HDCP (High-bandwidth Digital Contents Protection)

映像や音楽などのデジタルコンテンツの保護を目的に開発された、信号の暗号化方式。DVI 端子を経由して送信されるデジタルコンテンツを出力側で暗号化し入力側で復号化することによりコンテンツを安全に伝送できます。出力側と入力側の双方の機器が HDCP 対応していないと、コンテンツを再生できない仕組みになっています。

sRGB (Standard RGB)

周辺機器間（モニター、プリンター、デジカメ、スキャナーなど）の「色再現性、色空間」を統一する目的で成立した国際基準のことです。インターネット用の簡易的な色合わせの手段として、インターネットの送り手と受け手の色を近い色で表現できます。

TMDs (Transition Minimized Differential Signaling)

デジタルインターフェースにおける、信号伝送方式の一つです。

VESA DPMS

(Video Electronics Standards Association - Display Power Management Signaling)

VESA では、コンピュータ用モニターの省エネルギー化を実現するため、コンピュータ（グラフィックスボード）側からの信号の標準化をおこなっています。DPMS はコンピュータとモニター間の信号の状態について定義しています。

第6章 プリセットタイミング

●工場出荷時に設定されているビデオタイミングは以下のとおりです（アナログ信号のみ）。

注意点

- ・接続されるコンピュータの種類により表示位置等がずれ、調整メニューで画面の調整が必要になる場合があります。
- ・一覧表に記載されている以外の信号を入力した場合は、調整メニューで画面の調整をおこなってください。ただし、調整をおこなっても画面を正しく表示できない場合があります。
- ・インターレースの信号は、調整メニューで調整をおこなっても画面を正しく表示することができません。

表示モード	ドット クロック		周波数	極性
			水平：kHz 垂直：Hz	
VGA 640 × 480@60Hz	25.2 MHz	水平	31.47	負
		垂直	59.94	負
VGA TEXT 720 × 400@70Hz	28.3 MHz	水平	31.47	負
		垂直	70.09	正
Macintosh 640 × 480@67Hz	30.2 MHz	水平	35.00	負
		垂直	66.67	負
Macintosh 832 × 624@75Hz	57.3 MHz	水平	49.72	負
		垂直	74.55	負
Macintosh 1152 × 870@75Hz	100.0 MHz	水平	68.68	負
		垂直	75.06	負
Macintosh 1280 × 960@75Hz	126.2 MHz	水平	74.76	正
		垂直	74.76	正
VESA 640 × 480@72Hz	31.5 MHz	水平	37.86	負
		垂直	72.81	負
VESA 640 × 480@75Hz	31.5 MHz	水平	37.50	負
		垂直	75.00	負
VESA 640 × 480@85Hz	36.0 MHz	水平	43.27	負
		垂直	85.01	負
VESA 800 × 600@56Hz	36.0 MHz	水平	35.16	正
		垂直	56.25	正
VESA 800 × 600@60Hz	40.0 MHz	水平	37.88	正
		垂直	60.32	正
VESA 800 × 600@72Hz	50.0 MHz	水平	48.08	正
		垂直	72.19	正
VESA 800 × 600@75Hz	49.5 MHz	水平	46.88	正
		垂直	75.00	正
VESA 800 × 600@85Hz	56.3 MHz	水平	53.67	正
		垂直	85.06	正
VESA 1024 × 768@60Hz	65.0 MHz	水平	48.36	負
		垂直	60.00	負
VESA 1024 × 768@70Hz	75.0 MHz	水平	56.48	負
		垂直	70.07	負
VESA 1024 × 768@75Hz	78.8 MHz	水平	60.02	正
		垂直	75.03	正
VESA 1024 × 768@85Hz	94.5 MHz	水平	68.68	正
		垂直	85.00	正
VESA 1152 × 864@75Hz	108.0 MHz	水平	67.50	正
		垂直	75.00	正
VESA 1280 × 960@60Hz	108.0 MHz	水平	60.00	正
		垂直	60.00	正
VESA 1280 × 1024@60Hz	108.0 MHz	水平	63.98	正
		垂直	60.02	正
VESA 1280 × 1024@75Hz	135.0 MHz	水平	79.98	正
		垂直	75.03	正
VESA CVT 1680 × 1050 @ 60Hz	146.3 MHz	水平	65.29	負
		垂直	59.95	正
VESA CVT RB 1680 × 1050 @ 60Hz	119.0 MHz	水平	64.67	正
		垂直	59.88	負

アフターサービス

本製品のサポートに関してご不明な場合は、エイゾーサポートにお問い合わせください。エイゾーサポート一覧は別紙の「お客様ご相談窓口のご案内」に記載してあります。

保証書・保証期間について

- この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げの販売店でお渡ししますので、所定事項の記入、販売店の捺印の有無、および記載内容をご確認ください。なお、保証書は再発行致しませんので、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げの日より5年間かつ製品使用時間が30,000時間以内です。また、液晶パネルおよびバックライトの保証期間は、お買い上げの日より3年間です。バックライトの保証期間は推奨輝度^{*1}での使用の場合に限定され、お買い上げの日より3年間かつ製品使用時間が10,000時間以内です。
^{*1} 推奨輝度：80cd/m²以下（色温度：5000K～6500K時）
- 当社では、この製品の補修用部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製品の製造終了後、最低7年間保有しています。補修用部品の最低保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、エイゾーサポートにご相談ください。

修理を依頼されるとき

- 保証期間中の場合
保証書の規定にしたがい、エイゾーサポートにて修理をさせていただきます。お買い求めの販売店、またはエイゾーサポートにご連絡ください。
- 保証期間を過ぎている場合
お買い求めの販売店、またはエイゾーサポートにご相談ください。修理範囲（サービス内容）、修理費用の目安、修理期間、修理手続きなどを説明いたします。

修理を依頼される場合にお知らせいただきたい内容

- お名前・ご連絡先の住所・電話番号 / FAX 番号
- お買い上げ年月日・販売店名
- モデル名・製造番号（製造番号は、本体の背面部のラベル上および保証書に表示されている8けたの番号です。例）S/N 12345678）
- 使用環境（コンピュータ / グラフィックスボード / OS・システムのバージョン / 表示解像度等）
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）

修理について

- 修理の際に当社の品質基準に達した再生部品を使用することがありますのであらかじめご了承ください。

廃棄およびリサイクルについて

本製品ご使用後の廃棄は、下記回収・リサイクルシステムにお出してください。なお、詳しい情報については、当社のホームページもあわせてご覧ください。(<http://www.eizo.co.jp>)

法人のお客様

本製品は、法人のお客様が使用後産業廃棄物として廃棄される場合、お客様の費用負担でお引取りいたします。詳細については下記までお問い合わせください。

[エイゾーサポートネットワーク株式会社]

電話での問合せ受付	FAX での問合せ受付
076-274-7369 (専用)	076-274-2416
月曜日～金曜日 (祝祭日及び当社休日を除く) 9:30～17:30	24 時間受付 但し、回答は営業時間帯 (電話受付時間帯と同じ)


個人のお客様

本製品をご購入された個人のお客様は、ご購入後すぐに同梱の「PC リサイクルマーク請求はがき」にて PC リサイクルマークをご請求ください。

マークは本体背面部のラベルの近くに貼付ください。

[情報機器リサイクルセンター]

電話での問合せ受付	インターネットでの問合せ受付
03-3455-6107	http://www.pc-eco.jp
月曜日～金曜日 (祝日及び年末年始を除く)	
9:00～17:00	

	個人のお客様が、このマークが付いた当社製品の回収を情報機器リサイクルセンターにご依頼いただいた場合は、お客様に料金をご負担いただくことなく回収、再資源化いたします。



Congratulations!

The display you have just purchased carries the TCO'03 Displays label. This means that your display is designed, manufactured and tested according to some of the strictest quality and environmental requirements in the world. This makes for a high performance product, designed with the user in focus that also minimizes the Impact on our natural environment.

Some of the features of the TCO'03 Display requirements:

Ergonomics

- Good visual ergonomics and image quality in order to improve the working environment for the user and to reduce sight and strain problems. Important parameters are luminance, contrast, resolution, reflectance, colour rendition and image stability.

Energy

- Energy-saving mode after a certain time - beneficial both for the user and environment
- Electrical safety

Emissions

- Electromagnetic fields
- Noise emissions

Ecology

- The products must be prepared for recycling and the manufacturer must have a certified environmental management system such as EMAS or ISO 14000
- Restrictions on
 - chlorinated and brominated flame retardants and polymers
 - heavy metals such as cadmium, mercury and lead.

The requirements included in this label have been developed by TCO Development in co-operation with scientists, experts, users as well as manufacturers all over the world. Since the end of the 1980s TCO has been involved in influencing the development of IT equipment in a more user-friendly direction. Our labeling system with displays in 1992 and is now requested by users and IT-manufacturers all over the world.

For more information, please visit

www.tcodevelopment.com

このたびお求めのモニターには、TCO'03 ラベルが貼り付けられています。これはこのモニターが世界でも最も厳しい、いくつかの品質・環境要求に従って開発され、製造されたものであることを示しています。TCO'03 ラベルは、ユーザー主体の高性能な製品の開発や、自然環境への影響を最小限に抑制するために役立っています。

TCO'03 モニターにはいくつかの要求事項があります。

エルゴノミクス

ユーザーの作業環境を改善し、視覚や疲労の問題を軽減するために、優れたビジュアルエルゴノミクスと画像品質が求められます。輝度、コントラスト、解像度、反射率、演色性、画像の安定性といった項目が重要な要素となります。

エネルギー

一定時間経過後に節電モードに移行することが求められます。これはユーザーおよび環境の双方に有益な要求です。電氣的安全性についても求められています。

エミッション

電磁界やノイズの発生に対する要求事項があります。

エコロジー

TCO'03 製品は、リサイクルシステムを整備しなければなりません。また製造者は EMAS や ISO 14000 といった環境マネジメントシステムの認証を受けなければなりません。

塩素系または臭素系難燃剤および高分子化合物の、製品への使用が規制されています。またカドミウム、水銀、鉛などの重金属についても使用が規制されています。

TCO'03 の要求事項は、製造者に加えて世界中の科学者、専門家、ユーザーの協力のもとに TCO Development によって監修されています。1980 年後半より、TCO はユーザーフレンドリーな IT 機器の開発に影響を及ぼすべく関与してきました。モニター分野における TCO ラベリングシステムは 1992 年より始まりました。現在では世界中のユーザーや IT 企業に求められているシステムです。

さらに詳しい情報は www.tcodevelopment.com を参照してください。



株式会社ナナオ

〒924-8566 石川県白山市下柏野町 153 番地

<http://www.eizo.co.jp>

第 4 版 2009 年 1 月 Printed in Japan.

03V22312D2
(U.M-CG222W)